ジーコム独自調査レポート NO.165

家事・育児の実施状況と時短ニーズ

福岡県居住者の「家事・育児」に関する調査

2023年２月

Research & Consulting
GICOM
株式会社ジーコム

調査概要

1．調査方法

当社アンケートモニター「コムネット」登録者に対するインターネット調査

2．調査対象

福岡県在住の30歳以上の男女で、配偶者と同居する既婚層

3．調査時期

2022年11月18日（金）～11月25日（金）

4．調査規模

407サンプル

■性	件数	構成比（%）
男性	104	25.6
女性	303	74.4
全体	407	100.0

■年代	件数	構成比（%）
30代	58	14.3
40代	113	27.8
50代	113	27.8
60代	82	20.1
70代以上	41	10.1
全体	407	100.0

■居住地	件数	構成比（%）
福岡市内	229	56.3
市外都市圏	96	23.6
その他福岡県	82	20.1
全体	407	100.0

■ライフステージ	件数	構成比（%）
既婚・子どもなし	63	15.5
既婚・子どもが小学生以下	110	27.0
既婚・子どもが中学生以上で扶養	92	22.6
既婚・子育て終了	142	34.9
全体	407	100.0

■職業	件数	構成比（%）
会社員	83	20.4
公務員	9	2.2
団体職員 ・病院勤務	9	2.2
経営者・会社役員	4	1.0
派遣社員・契約社員	22	5.4
商工自営	14	3.4
農林漁業	–	–
自由業	5	1.2
学生	–	–
パート・アルバイト	92	22.6
専業主婦（主夫）	141	34.6
無職	24	5.9
その他	4	1.0
全体	407	100.0

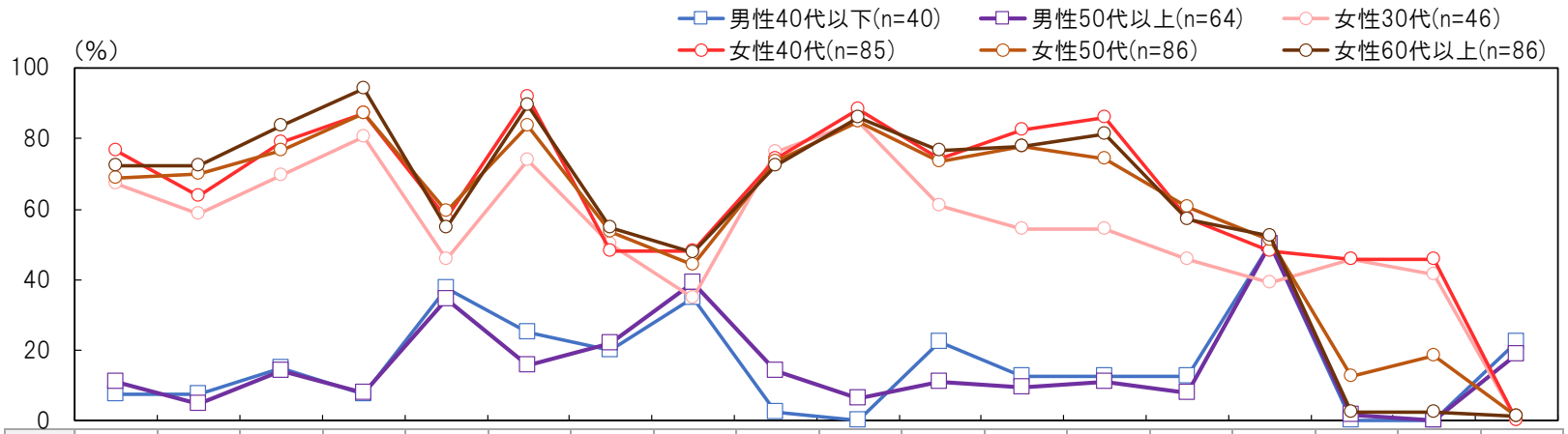
【報告書の見方】
・本文及び図中に示した調査結果の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合や合計値に誤差が生じる場合がある。
・複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
・報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

Copyright©2023 G-COM.All Rights Reserved.

●自分が主にしている家事・育児について、男性は「風呂場の掃除」「エアコン・換気扇の掃除」「ゴミ出し」は３割を超えているものの、その他の項目では女性と大きな差がある。

●一方女性では、30代は40代以上と比べると割合が低い項目が目立つ。

◆自分が主にしている家事・育児（複数回答）

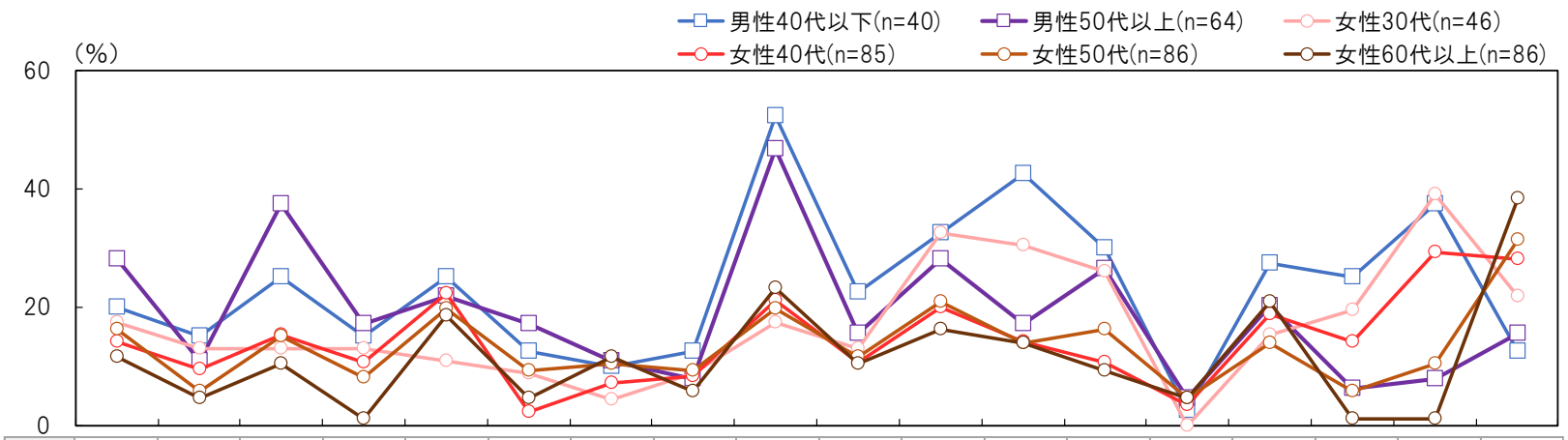


	調査数	掃除機をかける	床を拭く	部屋の片づけ	キッチンの掃除	風呂場の掃除	トイレの掃除	窓・網戸の掃除	エアコン・換気扇の掃除	食料品や日用品の買い物	食事の支度	皿洗い・食事後の片づけ	洗濯物を洗う・干す	洗濯物をたたむ	アイロン	ゴミ出し	子どもの登園や習い事の送迎	子どもの世話・育児	この中にあてはまるものはない
男性40代以下	40	7.5	7.5	15.0	7.5	37.5	25.0	20.0	35.0	2.5	－	22.5	12.5	12.5	12.5	50.0	－	－	22.5
男性50代以上	64	10.9	4.7	14.1	7.8	34.4	15.6	21.9	39.1	14.1	6.3	10.9	9.4	10.9	7.8	50.0	1.6	－	18.8
女性30代	46	67.4	58.7	69.6	80.4	45.7	73.9	50.0	34.8	76.1	84.8	60.9	54.3	54.3	45.7	39.1	45.7	41.3	－
女性40代	85	76.5	63.5	78.8	87.1	57.6	91.8	48.2	48.2	74.1	88.2	74.1	82.4	85.9	57.6	48.2	45.9	45.9	－
女性50代	86	68.6	69.8	76.7	87.2	59.3	83.7	53.5	44.2	73.3	84.9	73.3	77.9	74.4	60.5	51.2	12.8	18.6	1.2
女性60代以上	86	72.1	72.1	83.7	94.2	54.7	89.5	54.7	47.7	72.1	86.0	76.7	77.9	81.4	57.0	52.3	2.3	2.3	1.2

Copyright©2023 G-COM.All Rights Reserved.

●分担している家事・育児についてみると、女性では30代は40代以上に比べて高い項目が多く、他の年代に比べると夫婦間での分担ができているようだ。

◆分担して行っている家事・育児（複数回答）



	調査数	掃除機をかける	床を拭く	部屋の片づけ	キッチンの掃除	風呂場の掃除	トイレの掃除	窓・網戸の掃除	エアコン・換気扇の掃除	食料品や日用品の買い物	食事の支度	皿洗い・食事後の片づけ	洗濯物を洗う・干す	洗濯物をたたむ	アイロン	ゴミ出し	子どもの登園や習い事の送迎	子どもの世話・育児	この中にあてはまるものはない
男性40代以下	40	20.0	15.0	25.0	15.0	25.0	12.5	10.0	12.5	52.5	22.5	32.5	42.5	30.0	2.5	27.5	25.0	37.5	12.5
男性50代以上	64	28.1	10.9	37.5	17.2	21.9	17.2	10.9	7.8	46.9	15.6	28.1	17.2	26.6	4.7	20.3	6.3	7.8	15.6
女性30代	46	17.4	13.0	13.0	13.0	10.9	8.7	4.3	8.7	17.4	13.0	32.6	30.4	26.1	－	15.2	19.6	39.1	21.7
女性40代	85	14.1	9.4	15.3	10.6	22.4	2.4	7.1	8.2	21.2	10.6	20.0	14.1	10.6	3.5	18.8	14.1	29.4	28.2
女性50代	86	16.3	5.8	15.1	8.1	19.8	9.3	10.5	9.3	19.8	11.6	20.9	14.0	16.3	4.7	14.0	5.8	10.5	31.4
女性60代以上	86	11.6	4.7	10.5	1.2	18.6	4.7	11.6	5.8	23.3	10.5	16.3	14.0	9.3	4.7	20.9	1.2	1.2	38.4

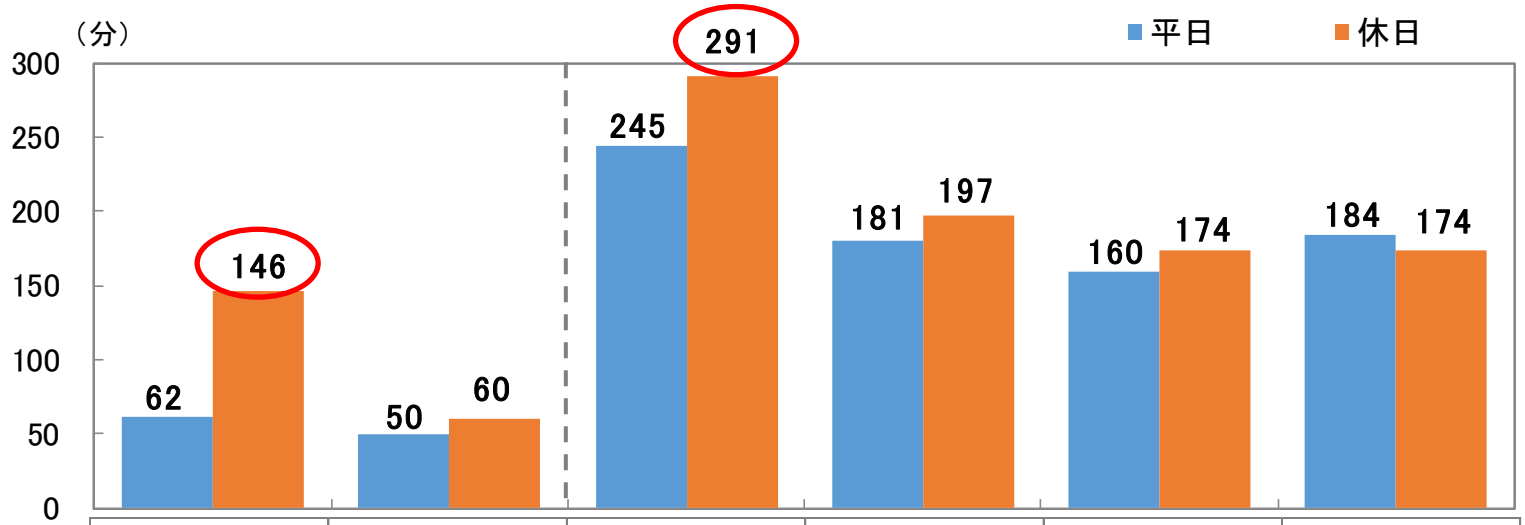
Copyright©2023 G-COM.All Rights Reserved.

2． １日あたりの平均家事・育児時間

● １日あたりの平均家事・育児時間について、男性40代以下は平日に比べて休日は１時間以上増加している。

●一方女性では、40代以上は平日、休日ともに３時間前後であるのに対し、30代は育児層も多いためか、平日は４時間、休日では５時間弱に及び、１日に占める家事・育児時間のウエイトは大きい。

◆１日あたりの平均家事・育児時間（単一回答）



	男性40代以下	男性50代以上	女性30代	女性40代	女性50代	女性60代以上
調査数	40	64	46	85	86	86
平日	62	50	245	181	160	184
休日	146	60	291	197	174	174

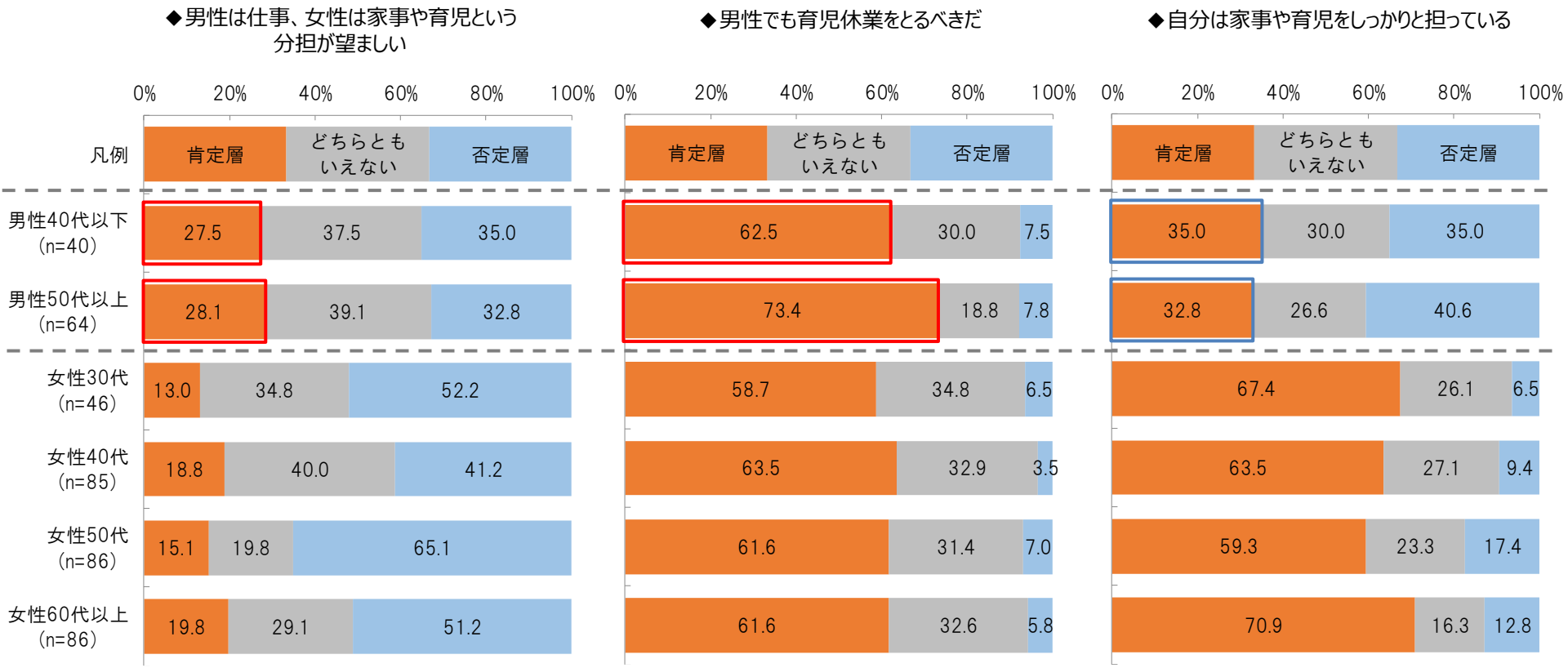
＊平均家事・育児時間：「全くしていない」=0、「30分未満」=15、「30分～1時間未満」=45、「1時間～1時間半未満」=75、「1時間半～2時間未満」=105、「2時間～2時間半未満」=135、「2時間半～3時間未満」=165、「3時間～4時間未満」=210、「4時間～5時間未満」=270、「5時間～6時間未満」=330、「6時間以上」=390として、加重平均値を算出。

Copyright©2023 G-COM.All Rights Reserved.

3．家事・育児に関する意識

- 男性の３割は、性別での固定的な役割分担を肯定している。一方で、育児休業については男性の６～７割が肯定層である。
- 男性は、「家事・育児をしっかりと担っている」という意識が女性の半数程度である。

◆家事・育児に関する意識（単一回答）



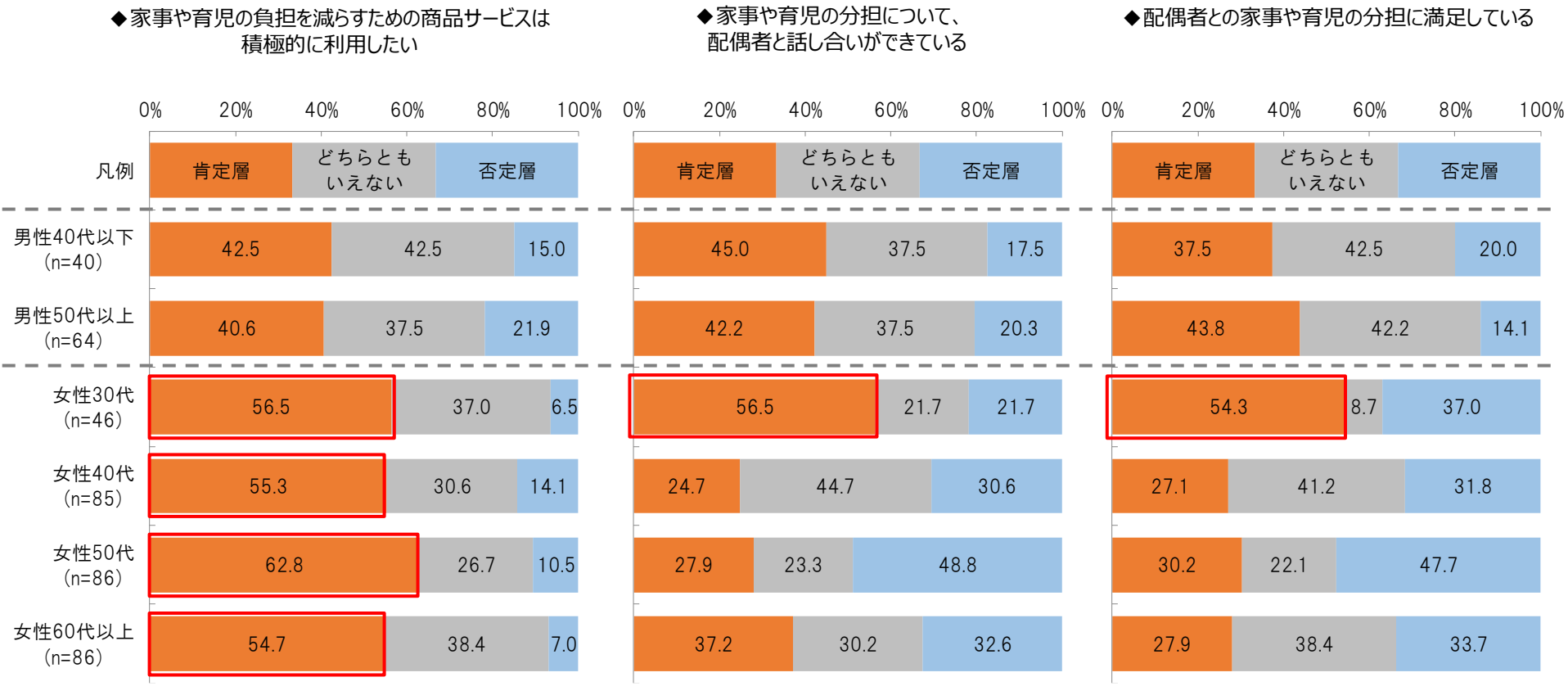
＊肯定層：「そう思う」＋「ややそう思う」
　否定層：「そう思わない」＋「あまりそう思わない」

Copyright©2023 G-COM.All Rights Reserved.

3．家事・育児に関する意識

- 女性は各年代の５～６割が負担削減のための商品やサービスの積極的利用意向層である。
- 女性30代の過半数は配偶者との分担について話し合いができており、40代以上に比べて分担状況の満足度も高い。

◆家事・育児に関する意識（単一回答）



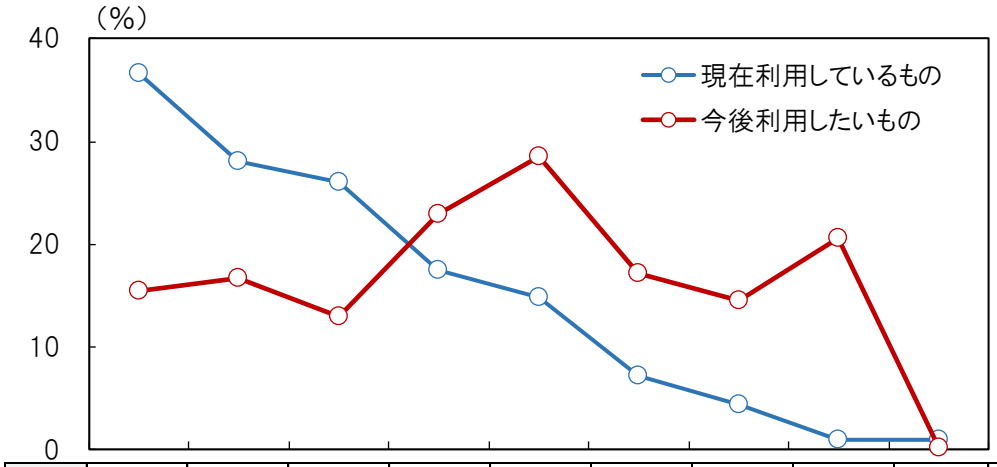
＊肯定層：「そう思う」＋「ややそう思う」
　否定層：「そう思わない」＋「あまりそう思わない」

Copyright©2023 G-COM.All Rights Reserved.

4．負担削減のために利用している、今後利用したい商品・サービス

- 家事・育児の負担削減のために現在利用している商品やサービスは、「食洗器」「ネットスーパー」「洗濯乾燥機」が上位である。
- 今後利用したいものでは、「掃除ロボット」「時短調理家電」「家事代行・援助サービス」が２割を上回っており、全体の６割が負担削減のための何かしらの新しい商品・サービスを利用したい意向がある。

◆負担削減のために利用している、今後利用したい商品・サービス（複数回答）



	調査数	食洗器の利用	ネットスーパーの利用（生協含む）	洗濯乾燥機の利用	時短調理家電（電気調理鍋など）の利用	掃除ロボットの利用	フードデリバリーや宅食サービスの利用	ミールキットの利用	家事代行・援助サービスの利用	その他	特になし
現在利用しているもの	407	36.6	28.0	26.0	17.4	14.7	7.1	4.4	1.0	1.0	34.9
今後利用したいもの	407	15.5	16.7	13.0	22.9	28.5	17.2	14.5	20.6	0.2	42.8

Copyright©2023 G-COM.All Rights Reserved.

4．負担削減のために利用している、今後利用したい商品・サービス

●家事・育児時間が長い女性30代は、現在利用しているものでは「食洗器」「ネットスーパー」の割合が高い。また、今後の利用意向では「時短調理家電」「掃除ロボット」の割合が３割半ば、「ミールキット」が２割半ばに及び、様々なシーンにおいて負担削減できる商品・サービスに関心を示している。

◆負担削減のために利用している、今後利用したい商品・サービス（複数回答）

【%】

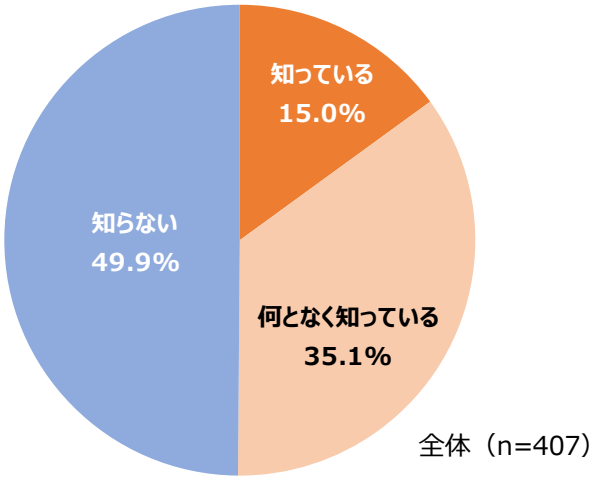
			調査数	食洗器の利用	ネットスーパーの利用（生協含む）	洗濯乾燥機の利用	時短調理家電（電気調理鍋など）の利用	掃除ロボットの利用	フードデリバリーや宅食サービスの利用	ミールキット（食材とレシピのセット）の利用	家事代行・援助サービスの利用	その他	特になし
現在利用しているもの	全体		407	36.6	28.0	26.0	17.4	14.7	7.1	4.4	1.0	1.0	34.9
	性年代別	男性40代以下	40	40.0	25.0	32.5	7.5	17.5	15.0	－	－	－	25.0
		男性50代以上	64	35.9	25.0	31.3	20.3	15.6	3.1	－	－	－	40.6
		女性30代	46	47.8	37.0	32.6	8.7	10.9	6.5	8.7	2.2	6.5	32.6
		女性40代	85	36.5	23.5	25.9	20.0	10.6	11.8	4.7	－	－	36.5
		女性50代	86	31.4	31.4	25.6	17.4	16.3	8.1	8.1	2.3	1.2	34.9
		女性60代以上	86	34.9	27.9	16.3	22.1	17.4	1.2	3.5	1.2	－	34.9
今後利用したいもの	全体		407	15.5	16.7	13.0	22.9	28.5	17.2	14.5	20.6	0.2	42.8
	性年代別	男性40代以下	40	25.0	12.5	17.5	32.5	20.0	15.0	17.5	17.5	－	45.0
		男性50代以上	64	9.4	17.2	6.3	14.1	21.9	18.8	12.5	10.9	－	54.7
		女性30代	46	21.7	19.6	10.9	34.8	34.8	21.7	23.9	19.6	－	37.0
		女性40代	85	16.5	23.5	12.9	25.9	37.6	12.9	18.8	21.2	－	36.5
		女性50代	86	16.3	11.6	16.3	23.3	26.7	15.1	8.1	26.7	－	39.5
		女性60代以上	86	10.5	15.1	14.0	15.1	26.7	20.9	11.6	23.3	1.2	45.3

Copyright©2023 G-COM.All Rights Reserved.

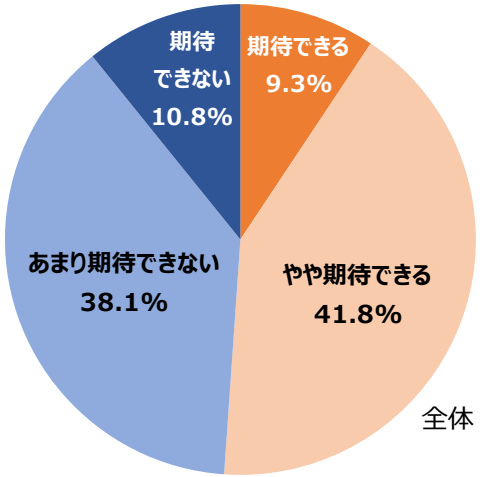
5．産後パパ育休制度の認知、期待度

- 2022年10月から施行された産後パパ育休制度を「知っている」と回答した層は15.0%であった。また、この制度の内容を提示して男性の育児休業取得率の増加や、男性の家事・育児時間の増加への期待度を尋ねたところ、期待層、非期待層が半数で拮抗している。
- 制度の主な利用層と考えられる男性40代以下や女性30代は非期待層が６割と他の年代に比べて高い。

◆産後パパ育休制度の認知（単一回答）



◆産後パパ育休制度の期待度（単一回答）



非期待層

48.9%

期待層

51.1%

【%】

		調査数	知っている	何となく知っている	知らない
全体		407	15.0	35.1	49.9
性年代別	男性40代以下	40	20.0	30.0	50.0
	男性50代以上	64	20.3	32.8	46.9
	女性30代	46	13.0	26.1	60.9
	女性40代	85	14.1	32.9	52.9
	女性50代	86	11.6	39.5	48.8
	女性60代以上	86	14.0	41.9	44.2

【%】

		調査数	期待できる	やや期待できる	あまり期待できない	期待できない
全体		407	9.3	41.8	38.1	10.8
性年代別	男性40代以下	40	17.5	22.5	45.0	15.0
	男性50代以上	64	10.9	46.9	32.8	9.4
	女性30代	46	13.0	26.1	47.8	13.0
	女性40代	85	2.4	44.7	38.8	14.1
	女性50代	86	9.3	43.0	34.9	12.8
	女性60代以上	86	9.3	51.2	36.0	3.5

【%】

期待層	非期待層
51.1	48.9
40.0	60.0
57.8	42.2
39.1	60.9
47.1	52.9
52.3	47.7
60.5	39.5

＊期待層：「期待できる」＋「やや期待できる」　非期待層：「期待できない」＋「あまり期待できない」

Copyright©2023 G-COM.All Rights Reserved.

6．産後パパ育休制度の非期待理由

＊非期待層限定

- 産後パパ育休制度の非期待層にその理由を自由回答で尋ねたところ、40代以下の男性からは今後の昇進等への影響や人材不足など会社の実情、制度を利用しづらい会社の雰囲気といった回答があがった。
- 女性からも男性と同じような回答があがった一方で、家事・育児に対する男性の意識に疑問をもつ回答も目立った。

◆産後パパ育休制度の非期待理由（自由回答）
＊40代以下の主な回答抜粋

男性	年代	女性	年代
義務化してくれないと、取りづらい	30代	ないよりはいいが、育児や家事のやり方を教えたり、やり方が違ってストレスになることもありそう	30代
給料面での問題	30代	実際に男性が取るのは難しいと思う。周りの目が厳しい	30代
あくまで推奨であるから	30代	まだまだ男性が休む事に周りの理解が得難いので結局取得出来ない	30代
大企業なら制度が使えると思うが、人手の足りない中小企業は取得することが難しいと思う	30代	結局は、普通の休みと同じでダラダラしてそう	30代
職場の雰囲気	30代	取得できる、ではなく、取得義務にしないと、簡単に取れなさそう	30代
昇給などに影響が出るため	30代	育休中は良いとしても、一般的な男性会社員の場合、普段が長時間労働だと思うから	30代
中小企業には余裕がない	40代	男の人が主体となっての産後の子育ては難しいと思う。どうしても手伝ってる感じになってしまうので、それなら意味がない	30代
現実なかなか取れないから	40代	結局、家事に慣れていない人が休みをとっても、産後の奥さんのやることが増えるだけだと思う	30代
職場の理解度にもよるため	40代	公務員や大企業は人員豊富でできるだろうけど中小企業や下請けだとギリギリの人数で仕事をしているため難しい	40代
実情に沿っていない	40代	家事や育児スキルが全ての父親にあるとは限らないから	40代
実際に男性で育休を取れるような状況にないため	40代	産後育休を取ってもらっても、育児は長く続くのであまり期待できなさそう	40代
パパの協力は個人差があるから	40代	出世に影響が出そうで浸透しなさそう	40代
まだまだ仕事を休み辛いし、職種にもよるけど、職場環境全然整ってない	40代	制度があっても、それを理解してもらえる職場環境にあるのか、難しい気がする	40代
期間が短すぎるから	40代	生後8週間は里帰りしている事が多く、生後1年以内に好きな時にまとめて2ヶ月くらい育休を取れる制度にした方が良い	40代
どうせ利用が少ないと思うし、赤ちゃんに父親ができることが少ない	40代	男性側の意識が変わらないと、休みをただ取るだけでは意味がない	40代
中小企業では難しいと思うから	40代	仕事が忙しく人が足りていないので、育休など充分にとれない。制度だけあっても人材が足りていないと思う	40代

Copyright©2023 G-COM.All Rights Reserved.

マーケティングリサーチからコンサルティングまで
福岡・九州の生活者マーケティングは、株式会社ジーコム

1986年の創業以来、35年以上福岡・九州で
「マーケティング・リサーチ」と「ビジネスコンサルティング」の専門会社として、
顧客視点に基づく科学的なアプローチによって的確な課題解決策を導き出し、
マーケティングサポートを行っています。

発行元：株式会社ジーコム

福岡市中央区天神4-1-1　第７明星ビル７Ｆ
TEL　092-761-0221　　FAX　092-761-0228
https://www.gcom-net.co.jp/
inq@gcom-net.co.jp

※無断転載を禁ず　調査データの転載・引用等をご希望の方はお問い合わせ下さい